



平成30年 4月18日(水) 雨のち晴れ

朝から雨です。でも、午後には晴れるという天気予報。
実際に晴れた。最近の天気予報はすごくよく当たる。
本日は8のつく日。

ところで、ある人からこんな相談を受けました。どう思われますか？

二人の学生がいる。二人とも、同じ地域から、同じ大学に行っている。

一人(Aさん)は学校の近くに下宿した。その学校には、多くの実習があり、その実習が大変だということで、実習中は朝早く実習場所に行かなければならなかったり、または、夜遅く帰宅することもあるだろうからと、Aさんの親御さんは、学校の近くに下宿を借りたそうだ。

もう一人(Bさん)は片道1時間以上をかけて公共交通機関で通っているとのこと。

実習の日が近づいてきた。

実習に行く場所が遠く、通うのには時間がかかって、1番電車で行っても、ひよっとすると遅刻するかもしれない。

そこで、Bさんは、「実習中の3週間ばかり、泊めてもらえないか。」とAさんをお願いをした。特に、BさんはAさんと親しいわけでもなく、また、一度もAさんの下宿には来たこともない子だ。

この場合、あなたは、Bさんが困っているからと言って、実習中の3週間、泊めてあげることはできますか？

Aさんの立場なら、実習という、特に大事で、神経を遣う期間なので泊めたくない。ましてや、実習中、今までまったく一緒に住んだこともない子と3週間一緒にいて、レポートや予習、それから生活習慣の違いなど、たぶん息が詰まって、苦痛以外の何ものでもない日常がおきると思うから、きっと、本心は泊めたくないと思うだろう。

でも、そんな期間中、Aさん自身は苦しむかもしれないが、困っている子を見過ごすわけに行かないとも思うだろう。

頭の中を、天使と悪魔がうごめき、悩むだろうな。

Bさんの中では、単純に頼んだだけかもしれないが、そのくらいAさんを苦しめているということは、きっと思っていないだろう。

その学校では、一般的には、公共交通機関を使って遠くから通っている子は、実習中には、近くにビジネスホテルなどを借りて実習に行く子が多いそうだ。マンスリーマンションを1ヶ月借りる子もあると聞いた。

そういう子が多い中、Bさんはそういう手立てを考えないで、安易に、他の子に甘えようとしたのではないかと思う。(考えた挙句の決断なのかもしれないが…)

Aさんは、結局、いろいろ悩んだ末、Bさんに断った。

でも、Aさんは、“Bさんが困っているから頼んできたのに断ってしまった。”という罪悪感を強く持って、悩んでいる。

私の思ったとおりだ。

私はその話を聞き、Aさんに、「まず、Bさんが、実習場所が遠くて通うには時間がかかるので、親に、ビジネスホテル等を借りるように話をしたのだろうか？」と聞いたら、「Bさんはそんなことするはずがない。一人で住むのはもったいないし、一人では住みたくないということで、たぶん、親には話してないと思う。」とのこと。さらに、あえて、「Bさんに、『親に話した?』と聞くのもいやだ。」と言っていた。

Bさんは、ビジネスホテル等を借りる努力もせずに、安易に、Aさんに頼んで、何とかなると思ったのではないかなと推測される。

さらによく聞いてみると、細かいことだが、3週間の部屋代、光熱費、食費等の話は何も出なかったし、どうも、3週間、ただで泊めてもらおうとしたような雰囲気を感じ取られたとのこと。

勝手すぎる。その親はそういう事実を知っているのだろうか？

たぶん、Aさんの話では、親には言っていないと思うから、たぶん親は知らないと思うけど、でも、もし、Bさんの親が、そのことを聞いていて、「友達に頼んでみたら、どうなの？」などということ言っていたら、私は、「×」です。

私が親なら、他人に迷惑をかける前に、自分の子どものために何とかしようとするし、何とかしようと四方八方手を尽くし、何とかするつもりだ。

さすがに、何ともならなかったとしても、自分が3週間、送迎をするぐらいの覚悟を持つつもりです。

親の態度、姿勢、価値観、考え方って、大事だ。

育てると言うことは、いろいろな考え方が、子どもに伝わる、繋がる、繋げるということだと思う。

後日談だが、ずっと以前に、Bさんとのやりとりに、こんなこともあったそうだ。

Bさんに、「講義のノートを貸して。」と言ったら、「あなたは、代わりに何をしてくれるの？」と交換条件を出してきたそうだ。冗談ではなく、本気で。ギブアンドテイクかもしれないが、Bさんにとっては、「される側」と「する側」では、論理が違うのだなと感じた。

もし、Bさんが、Aさんの立場で、「実習中の3週間ばかり、泊めてもらえないか。」に対して、どう返答したのだろうか？

私は思う。たぶん、即答で、「NO!」と言っていただろう。

たぶん、自己中心的な子ではないかと思う。自分勝手な子ではないかと思う。現実には違ふかもしれないが、たとえ、Bさんがそういう子ではなかったとしても、第三者にそう思わせている現実は否めない。

そんな子に悩まされ、罪悪感を感じて、つらい思いをしたAさんがかわいそうだ。

でも、はっきり断ったことで、Aさんは、今後は楽になると思う。そう思いたい。

しかし、多分、何も深く考えていないBさんは、また頼んできそうな気がする。
Aさんがつらい気持ちになるようなことがないように祈らずにはられない。

平成30年 4月17日(火) 曇りのち雨

どんよりとした曇り空。気分が晴れないかもしれないが、気持ちを入れていきましょう。
今日の夜、PTA本部役員会がありました。

平成30年 4月16日(月) 晴れ

土、日で雨が降りました。草木が一気に生えて、雑草が生い茂り、草刈をしなければなら
ないと思いつつも、また、1週間の始まりです。
生徒の様子を見ています。新年度、新学期の始まりのときよりも落ち着いてきていますね。
新鮮なときの気持ちを忘れず、頑張ってください。

平成30年 4月13日(金) 晴れ

相変わらず、すばらしい陽気。

これで9日の月曜日以来、1週間が終わります。

あなたは、この1週間を長く感じましたか？それとも、短く感じましたか？

時間の長さは1週間なのに、感じ方によって、長かったり、短かったり、人さまざまで、
面白いですね。極端に言うと、1分が1時間のように感じられたり、また、1秒のよう
にも感じられたり……。心のもち方次第で、感じ方はどうにでも変わるんだね。

まだ始まったばかりです。来週も頑張らしましょう。

まだまだ、4月。交通安全に気をつけてください。被害者にも加害者にもなりえます。
慎重で安全第一の通学・通勤を心がけましょう。

平成30年 4月12日(木) 晴れ

すばらしい陽気。きっと、花粉がバンバン飛んでいるような気がします。

今日は、LHRで役員決めがありました。話し合っていて決めているクラスや、黒板に早く書
いたもの順？などさまざま。でも、きっと、皆その役に頑張ってくれるだろうから何も心
配はしていない。

また、担任による教育相談が始まりました。環境が変わった中で、どんなことでもよい
から相談してくれるとうれしいな。

幼、保、小、中、高、どこも新入生あり。交通事故に気をつけて何よりも安全第一に登
校、出勤しましょう。

平成30年 4月11日(水) 曇りのち雨

部活動紹介がありました。

どんな部に入って活躍してくれるのかな、楽しみです。

平成30年 4月10日(火) 晴れ

午後に、体育館で、生徒会主催の対面式がありました。
生徒会の工夫を凝らした演出が、場を和ませてくれました。

また、生徒会長の挨拶と、1年生の代表の挨拶。どちらも、しっかりとしていて、感激しました。

平成30年 4月 9日(月) 晴れ

午前中は新任式がありました。今年度関高校に着任された先生方の紹介です。
新任式に続いて始業式が行われました。その後、新学年、新学期、新たな気持ちで、神妙な面持ちでホームルームに望んでいました。ドキドキ感が伝わってきますね。

午後からは入学式。今年は小中高が同日になったため、高校は1時間いつもより時間を遅らせ、午後2時からの開始としました。真新しい制服に身を包み、初々しさたっぷりの1年生。

明日は対面式です。これで、また1年から3年まで皆揃います。2,3年生は1年生の手本となるような先輩として、また、1年生は2,3年生を見習って、ともに関高校を盛り上げて行ってほしいです。